

がんばる栄養士を応援します!

155

# わたしたちの施設の 期待の星

医療法人財団竹政会福山循環器病院栄養管理課



## 【患者に寄り添った栄養管理】

同院の栄養管理課はすべて直営で、栄養食事指導に加えて献立作成、発注、調理など患者にかかわる栄養管理を行っている。加戸さんは臨床栄養管理と給食経営管理の両業務を行うことで、患者から食事に関する質問を受けたときに具体的に答えることができたり、献立作成から調理に至るまでを臨場感たっぷりで伝えることができるという。また、厨房で一緒に調理をする調理師との距離が近く、「『ちょっとした調理のコツ』を教えてもらえる」と加戸さんは話す。



- 25 歳
- 広島県出身
- 管理栄養士 3 年目

食べることが好きで、食に関する仕事に就きたいと考えていた加戸さん。祖父の入院時に、親身にサポートしてくれた管理栄養士の姿をみて、管理栄養士は食事を提供するだけではなく、食べられるようにサポートし、患者や家族とも深くかかわることを知った。大学での病院実習で自分も患者と密にかかわりたいと思い、病院管理栄養士の道にすすんだ。

## 【めざせ オールラウンドプレイヤー!】

調理から栄養食事指導までを行う栄養管理課では、さまざまなスキルに加えてコミュニケーション能力も重要だ。加戸さんは栄養食事指導を経験して、「日々、さまざまな情報を収集して自分に落とし込むことが必要」と語る。栄養管理課課長の岡本光代さんは、加戸さんについて「向上心が高く物腰もやわらかで、同僚だけでなく患者や家族と関係性を築くことが上手。彼女にだけ本音を話す患者もいる」と話す。また、「今後は心不全療養指導士の資格を取得し、知識に磨きをかけてさらに活躍してくれると信じている」と期待を寄せる。

